



Our Precision, Your Advantage

大和インベスター・リレーションズ主催 個人投資家向け説明会

2026年8月28日

カヤバ株式会社（証券コード：7242）



Our Precision, Your Advantage

Contents

1. 会社概要
2. 決算概要



会社概要



創業者・萱場資郎の言葉

「現用のあらゆるものは発達途中の、
過去のものであり、
世の中は常に新しいものを
求めて止まない」

社名	カヤバ株式会社 (2023年10月にKYB株式会社から改称)
創立	1935年3月10日
資本金	276億4,760万円
株式	東証プライム市場(1959年10月東京証券取引所に株式上場)
事業内容	油圧製品、システム製品の開発、製造、販売
従業員数	連結 13,418名 単独 4,414名 (2026年3月末)

国内ネットワーク



Our Precision, Your Advantage

国内拠点



国内関係会社

①タカコ	油圧機器 ソレノイドポンプ 世界シェアNo.1
②カヤバCS	システム装置のカスタマーサービス 舞台装置
③カヤバモーターサイ クルサスペンション	二輪車用油圧緩衝器 合併効果による 国内外の幅広いお客様への展開
④金山カヤバ	四輪車用油圧機器 CVTポンプの生産における グローバルマザー工場
⑤長岡カヤバ	データ通信機器・車載機器 電子技術によるカヤバグループの モノづくり力強化
⑥知多鋼業	線ばね・薄板ばね・パイプ成形加工品 アフターマーケット領域の強化

グローバルネットワーク

- ★ 統轄会社
- 生産拠点
- 販売拠点/その他サービス



25 生産拠点 ・ 23 販売拠点／その他サービス

米州

5 ●●●●●
5 ■■■■■

欧州

4 ●●●●
12 ■■■■■■■■■■

アジア

16 ●●●●●●●●●●●●●●●●
6 ■■■■■■

カヤバのコア技術

油圧技術

- 液体(作動油・潤滑油)を媒体とし、エネルギーの**吸収**、**伝達**を行う技術
- パスカルの原理を応用して**力を調整**する

コア技術

振動制御

油圧機構により減衰力(抵抗力)を発生し
振動を適度に**吸収**する

パワー制御

- 油圧システムにより
適切な力を各機器へ**伝達**する
- 大きな力を生み出すことも可能

電子制御技術

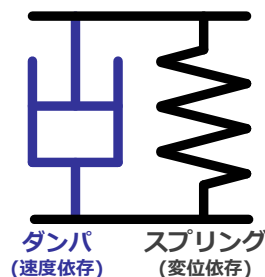
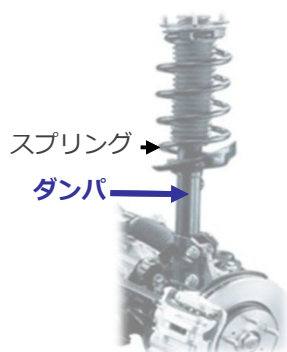
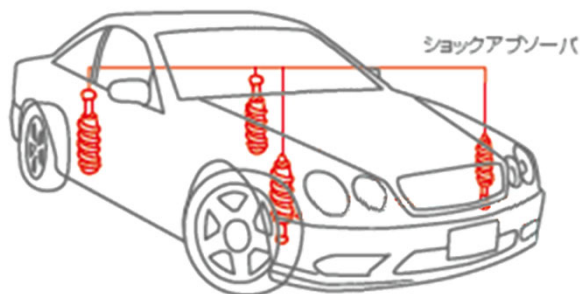
振動制御とパワー制御を強みに、電子制御技術を融合

カヤバのコア技術・振動制御

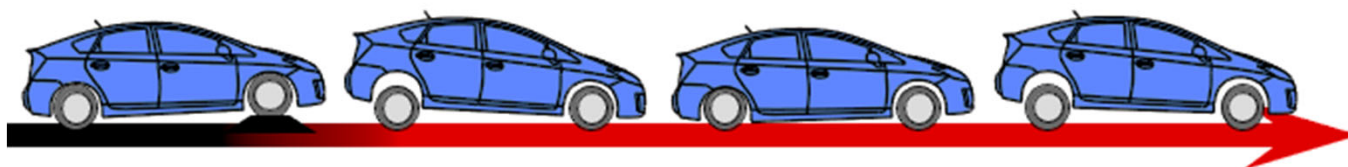
振動制御

油圧機構により減衰力(抵抗力)を発生し、振動を適度に**吸収**する

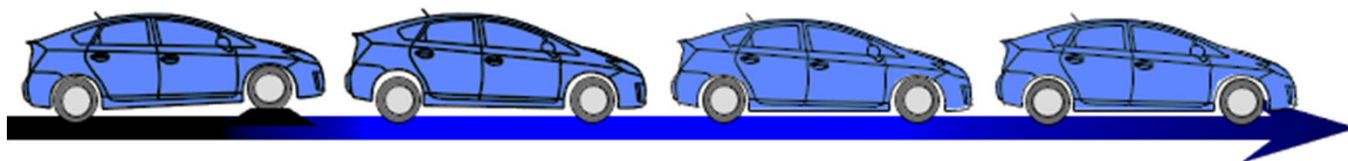
自動車用ショックアブソーバ



ショックアブソーバの減衰力がないと・・・揺れがいつまでも収まらない



ショックアブソーバの減衰力があると・・・揺れがすぐに収まる



振動

ショックアブソーバ

抑制

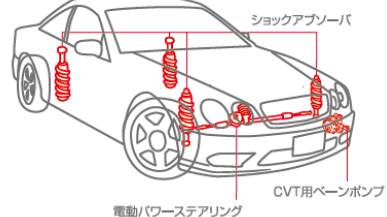
- ✓ 重量面 / 搭載性 / コスト面より、当面は油圧機構が主流
- ✓ 軽量化 / 環境対応ニーズが強まり、材料置換を含む対応要

カヤバのコア技術・振動制御

KYB
Our Precision, Your Advantage

振動制御

自動車



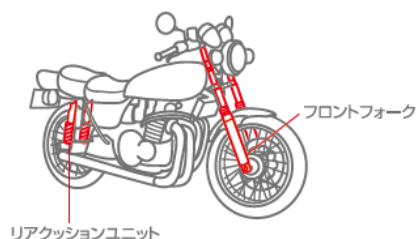
ショックアブソーバ



CVT用ベーンポンプ

パワー制御

二輪車

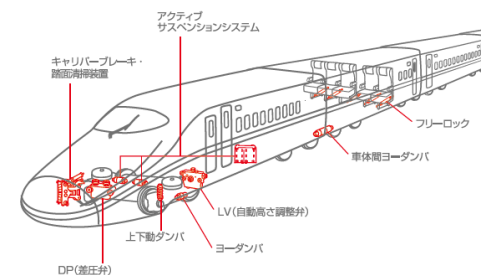


フロントフォーク



リアクッションユニット

鉄道



アクティブ
サスペンションシステム



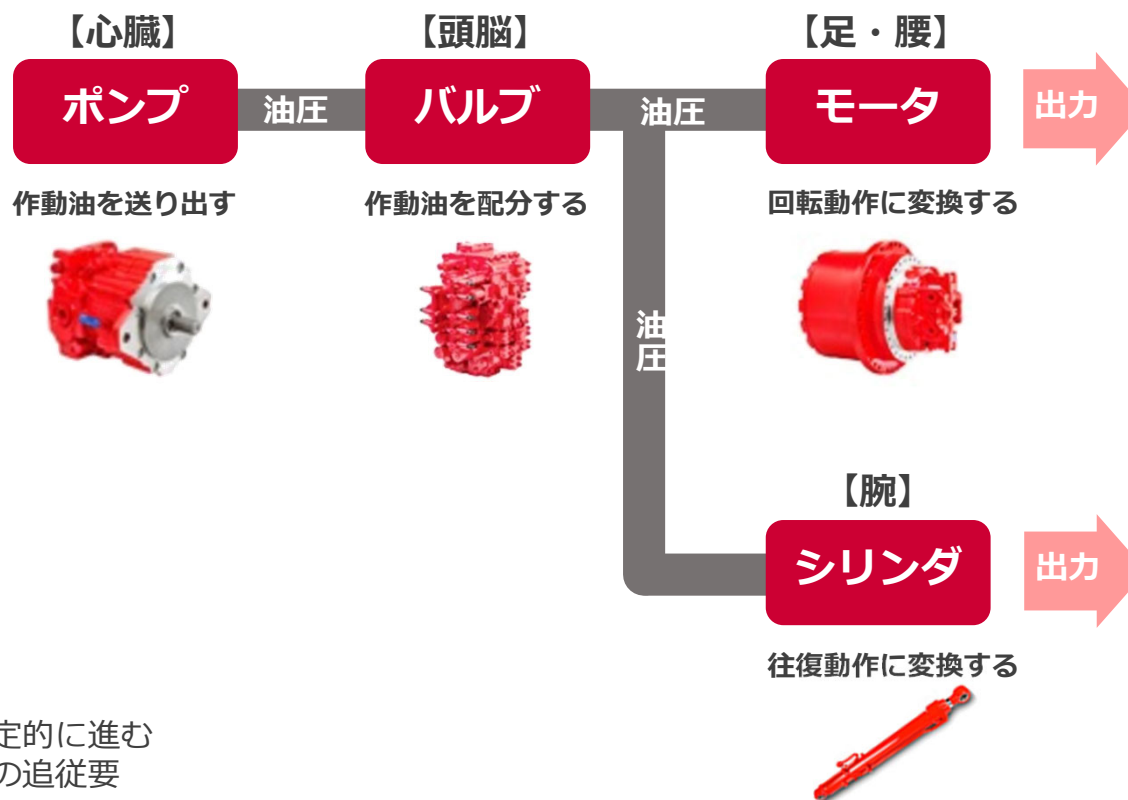
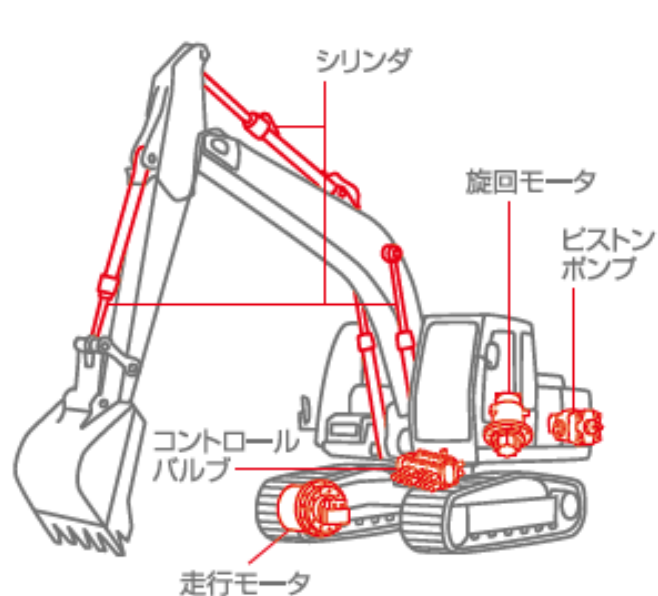
キャリパーブレーキ・
踏面清掃装置

パワー制御

カヤバのコア技術・パワー制御

パワー制御

- ・油圧システムにより適切な力を各機器へ**伝達**する
- ・大きな力を生み出すことも可能



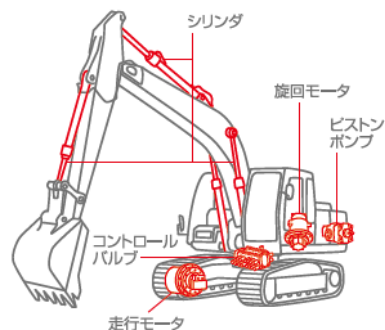
- ✓ 出力レベル / 効率面により動力源の電動化から限定的に進む
- ✓ 自動化 / 遠隔操作ニーズが強まり、電子制御化への追従要

カヤバのコア技術・パワー制御

KYB
Our Precision, Your Advantage

パワー制御

建設機械



船舶

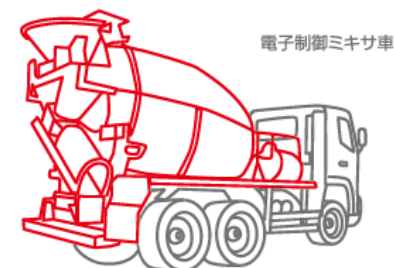


海中投入機器
揚収装置
艦内油圧
供給ユニット



艦のステルス形状に合わせた開閉式扉

特装車両



コンクリートミキサー車

主要納入先

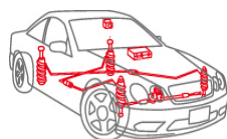


Our Precision, Your Advantage

自動車向け (AC)

【国内完成車】

トヨタ自動車
日産自動車
スバル
本田技研工業
スズキ
いすゞ自動車
三菱自動車
日野自動車
ダイハツ工業
マツダ



【海外完成車】

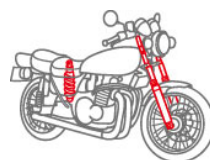
ステランティス
ルノー
フォルクスワーゲン
メルセデス・ベンツ
ゼネラルモーターズ

【自動車部品】

ジャトコ
アイシン

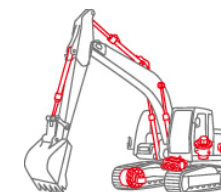
二輪車向け (AC)

ヤマハ発動機
スズキ
川崎重工業
ホンダ
TVS
HERO
ポラリス
BRP
Ducati

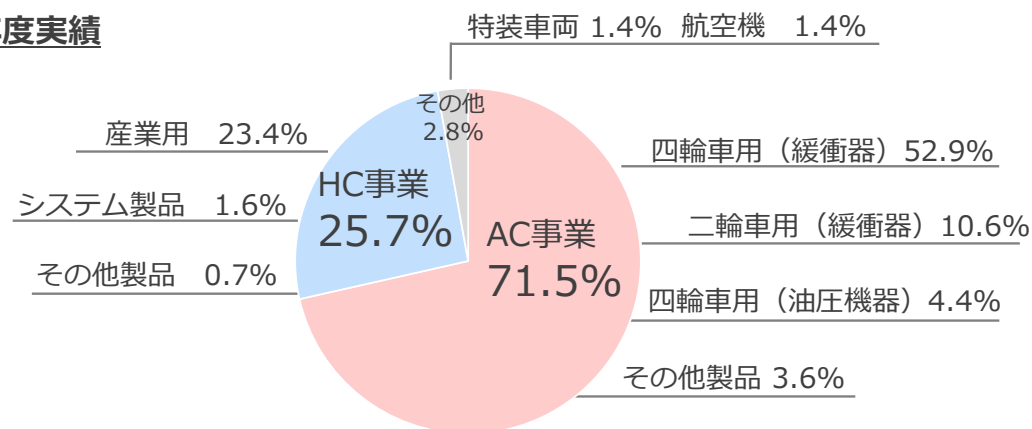


建設機械・システム製品 (HC)

日立建機
キャタピラー
住友建機
クボタ
コベルコ建機
竹内製作所
ボンフィグリオリー
ヤンマー建機
斗山ジャパン、三一重工、山河
三菱重工



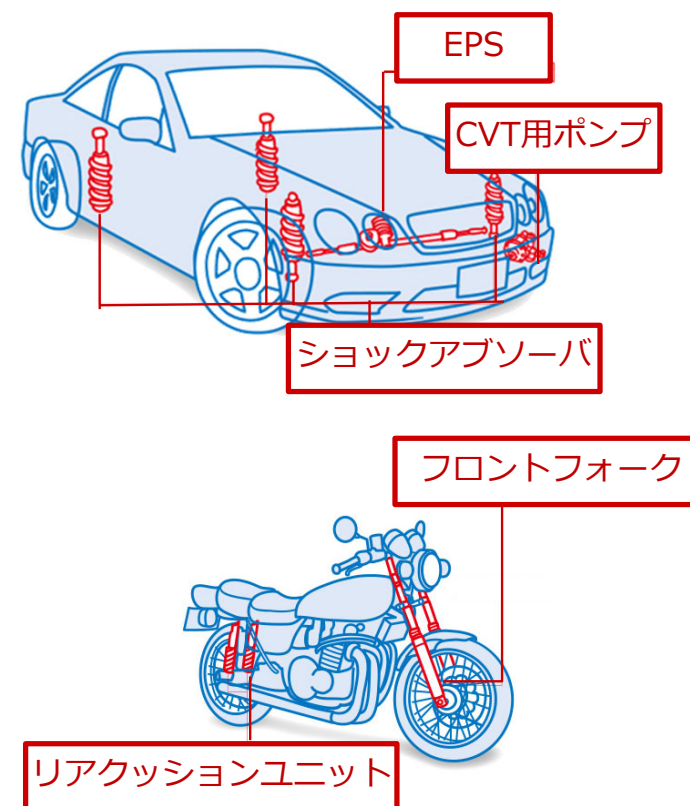
25年度実績



AC事業 製品構成

25年度実績

セグメント	製品	売上比率	
四輪車用緩衝器	OEM（新車用） / 純正補用	64%	74%
	市販用	36%	
二輪車用緩衝器	フロントフォーク / リアクッションユニット	—	15%
四輪車用油圧機器 （ステアリング製品）	油圧ポンプ&ギア	31%	6%
	電動パワーステアリング (EPS)	19%	
	CVT（無段変速機）用ポンプ	50%	
その他緩衝器	ATV用機器、 ステアダンパ、鉄道機器 他	—	5%



AC事業 納入先・製品

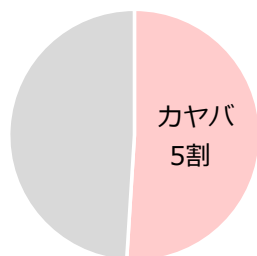


Our Precision, Your Advantage

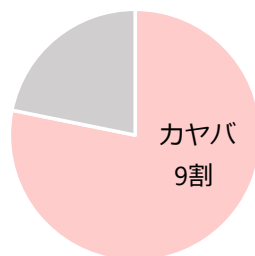
25年度実績

得意先			主な製品			
			四輪車用 緩衝器	二輪車用 緩衝器	四輪車用 油圧機器	CVT用 ポンプ
1	トヨタ自動車	14.6%	✓			
2	ヤマハ発動機	7.9%		✓		
3	ステランティス	5.4%	✓			
4	日産自動車	4.0%	✓		✓	
5	VW	3.9%	✓			
6	本田技研工業	3.8%	✓	✓		
7	ジャトコ	3.1%				✓
8	スズキ	2.3%	✓	✓	✓	
9	ルノー	2.0%	✓			
10	川崎重工	1.5%		✓		
ー	その他	50.5%				

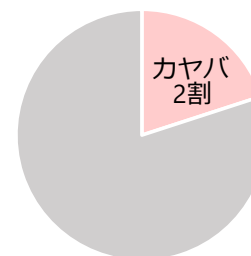
顧客内シェア



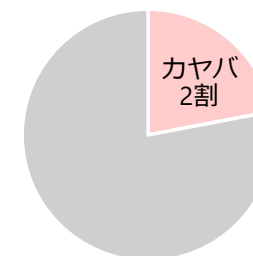
トヨタ自動車



ヤマハ発動機



ステランティス



日産自動車

AC事業 シェア・競合

25年度実績

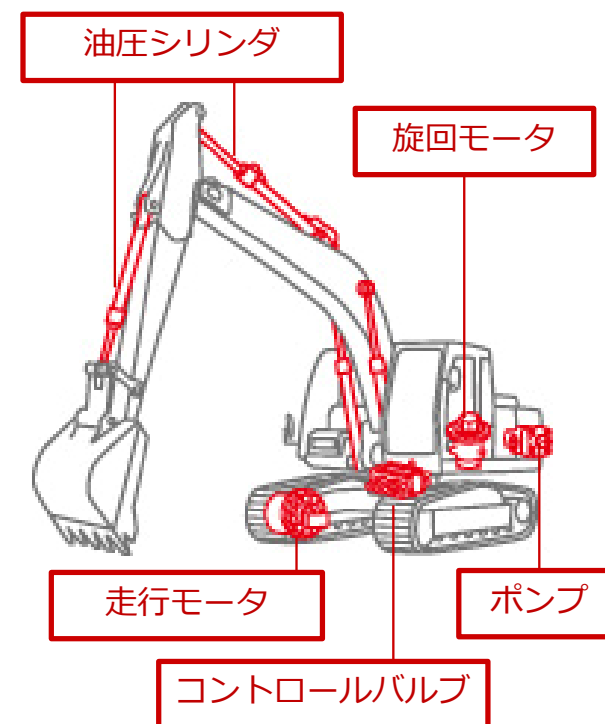
マーケットシェア	国内	グローバル
ショックアブソーバ（OEM）	39%	12%
ショックアブソーバ（市販）	－	16%
ショックアブソーバ（二輪）	－	11%

競合	国内	グローバル
ショックアブソーバ（OEM）	Astemo	Astemo, Sachs (ZF), Tenneco, Mando
ショックアブソーバ（市販）	Tein	Monroe (Tenneco), Sachs (ZF)
ショックアブソーバ（二輪）	Astemo	Astemo, Sachs(ZF), Ohlins
ステアリング製品	JTEKT, NSK, Astemo	JTEKT, ZF, Nexteer, NSK

HC事業 製品構成

25年度実績

セグメント	製品	売上比率
産業用建設機械、 フォークリフト、 農業機械向け	油圧シリンダ	35%
	走行モータ	26%
	旋回モータ	3%
	コントロールバルブ	19%
	ポンプ（ギヤポンプ）	4%
	その他	5%
システム製品	舞台機構、艦艇機器 他	5%
その他	その他	3%

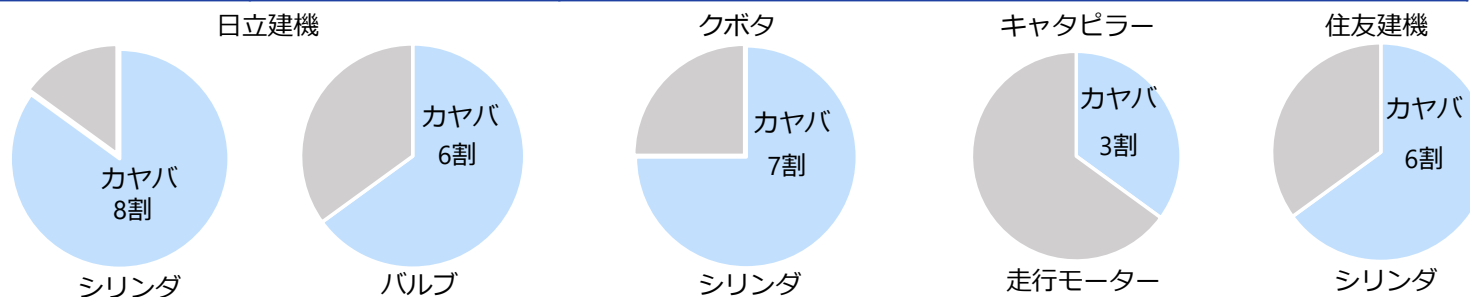


HC事業 納入先・製品

25年度実績

得意先		売上比率	主な製品				
			シリンダ	モーター	コントロールバルブ	ポンプ	システム製品
1	日立建機	20.9%	✓	✓	✓		
2	クボタ	11.6%	✓	✓	✓	✓	
3	キャタピラー	9.0%	✓	✓			
4	住友建機	6.9%	✓	✓	✓		
5	コベルコ建機	4.8%	✓	✓	✓		
6	竹内製作所	3.6%	✓	✓	✓	✓	
7	ボンフィグリオーリ	2.5%		✓			
8	ボッシュ	2.2%		✓	✓		
9	ヤンマー建機	2.1%	✓	✓	✓	✓	
10	三菱重工	1.7%					✓
ー	その他	34.7%					

顧客内シェア



HC事業 シェア・競合

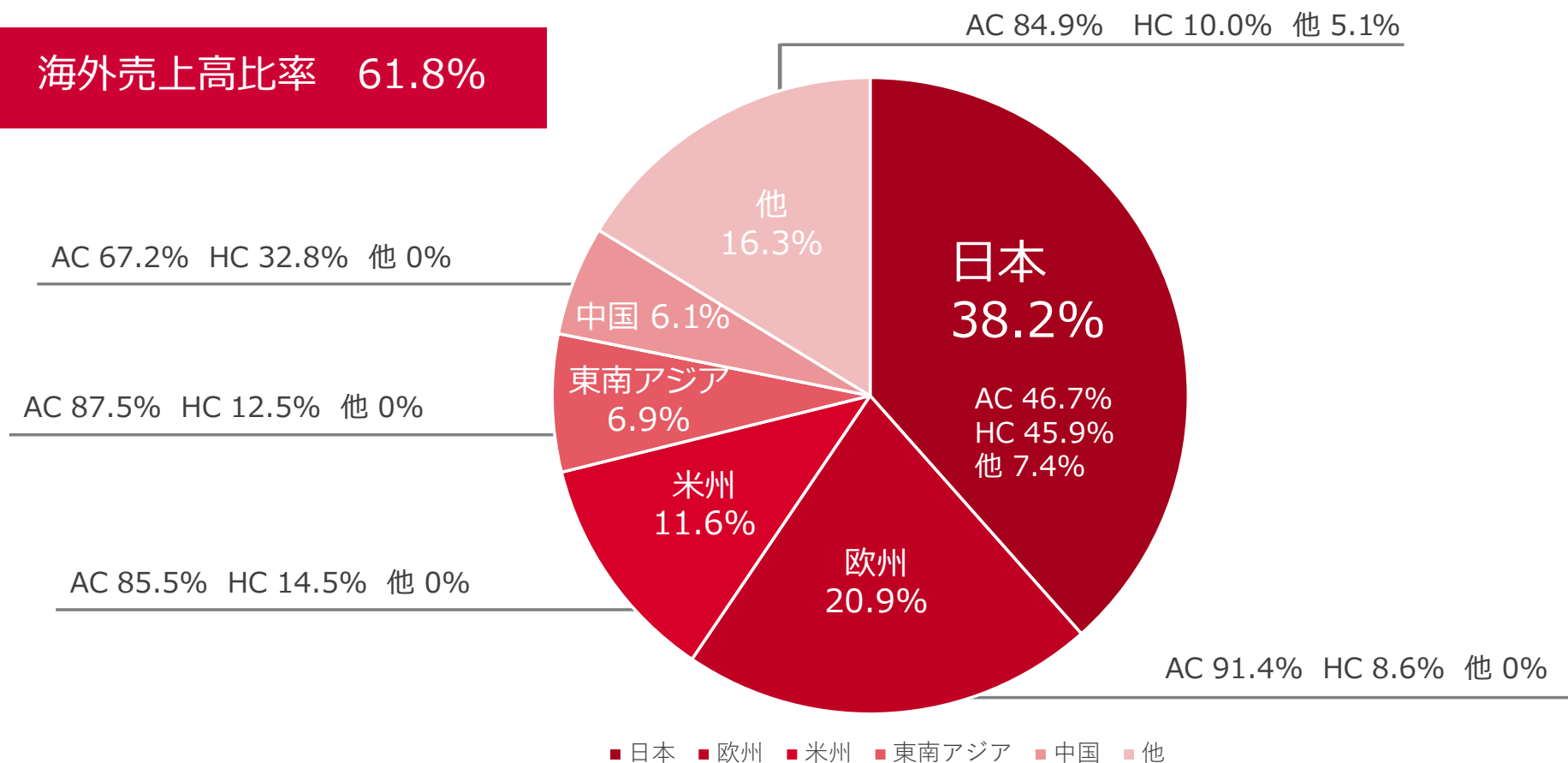
25年度実績

マーケットシェア	グローバル		国内
	ミニショベル	中型ショベル	フォークリフト
シリンダ	27%	17%	41%
走行モータ	27%	15%	—
旋回モータ	11%	—	—
コントロールバルブ	29%	19%	5%
ポンプ（ギヤポンプ）	19%	—	22%
競合			
シリンダ	In-House, Jiangsu Hengli High pressure （江蘇恒立）, DY Corporation		
走行モータ	コムテスコ, NACHI, Doosan-Mottrol		
旋回モータ	NACHI, 川崎重工		
コントロールバルブ	In-House, コムテスコ, 川崎重工		
ポンプ（ギヤポンプ）	NACHI, 島津		

地域別売上構成

25年度実績

海外売上高比率 61.8%



ニーズと成長戦略（AC事業）

ニーズ

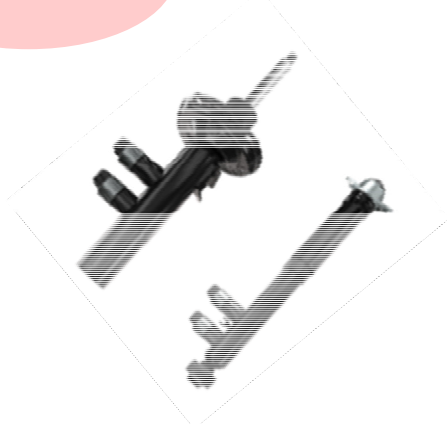
電動化により重視される
安全性・快適性

乗り味

乗心地・
安定性向上

静粛性

ノイズ抑制



成長戦略

コア技術と電子制御システムを融合し、
自動運転・EV 時代の安全・快適性能を追求

アクティブサスペンションシステム

フル/セミアクティブサスペンションシステム
安全性能の追求・究極のフラットライド、
スマホで減衰力を調整できる「ActRide」

自動車用
電子制御サス



ActRide

次世代ハイブリッドサスペンションシステム

次世代車高調整+サスペンションシステム
空力性能向上(電力・燃料消費低減)、昇降性向上

車高調整サス



電子制御

Sens



Think



Act



ニーズと成長戦略（HC事業）

ニーズ

産業機械の高度化・電動化に合わせた
遠隔操作・自動運転・高効率化への対応

操作性

マッチング度・
操縦性向上

静粛性

ノイズ抑制



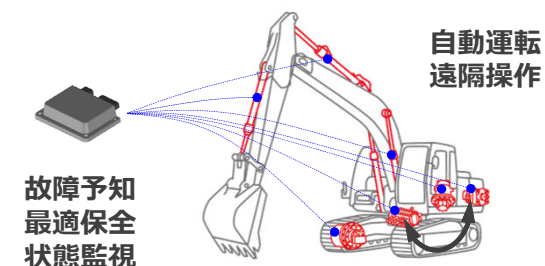
成長戦略

油圧機構部品の全てを開発・生産するため
電子制御と最適システムの提案が可能

ECU
+
油圧機器

連動制御

情報システム



故障予知
最適保全
状態監視

油漏れ検知センサ

油状態監視センサ



電子制御・油圧システム

Sens

Think

Act

PUMP VALVE



防衛ビジネスの拡大（HC事業）



Our Precision, Your Advantage

◆システム製品およびカスタマーサービス事業の拡大・・・海に、陸に、価値あるシステムで貢献

「海上分野」

・災害派遣/海洋開発等ニーズの多様化に対応

出典：海上自衛隊ホームページ



機械構造
技術

システム製品

油圧
技術

制御
技術

パワー制御技術をコアとした
自動化・省人化システム

「陸上分野」

・社会を支える様々なインフラの整備に対応

特殊車両

支援器材

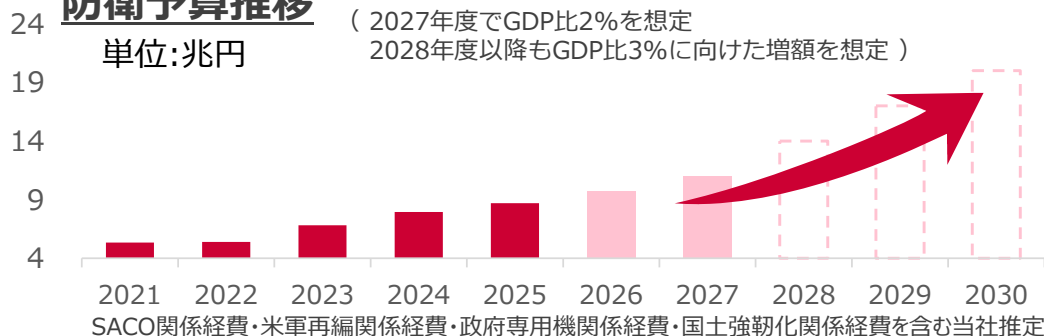
陸上設備

付帯施設

維持整備

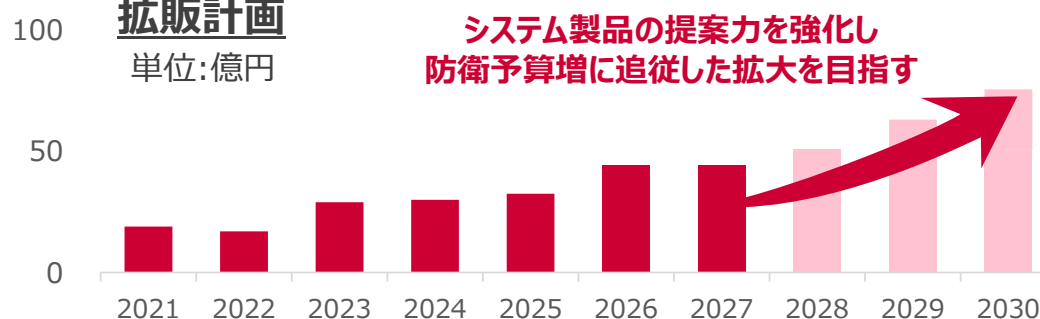
防衛予算推移

単位:兆円



拡販計画

単位:億円



ニーズと成長戦略（特装車両事業）

ニーズ

EV対応・軽量化・安全性・積載量増加
⇒使い勝手の向上

操作性

フルオーダーメイドで
1台ずつカスタマイズ

静粛性

騒音配慮



成長戦略

国内シェア87%のトップシェアを活かし、
「真のダントツミキサメーカー」を目指す

- ・低騒音・低燃費の
環境配慮型コンクリートミキサ車最新モデル
「eミキサⅢ」の販売
- ・充実したアフターサービス

新事業への挑戦

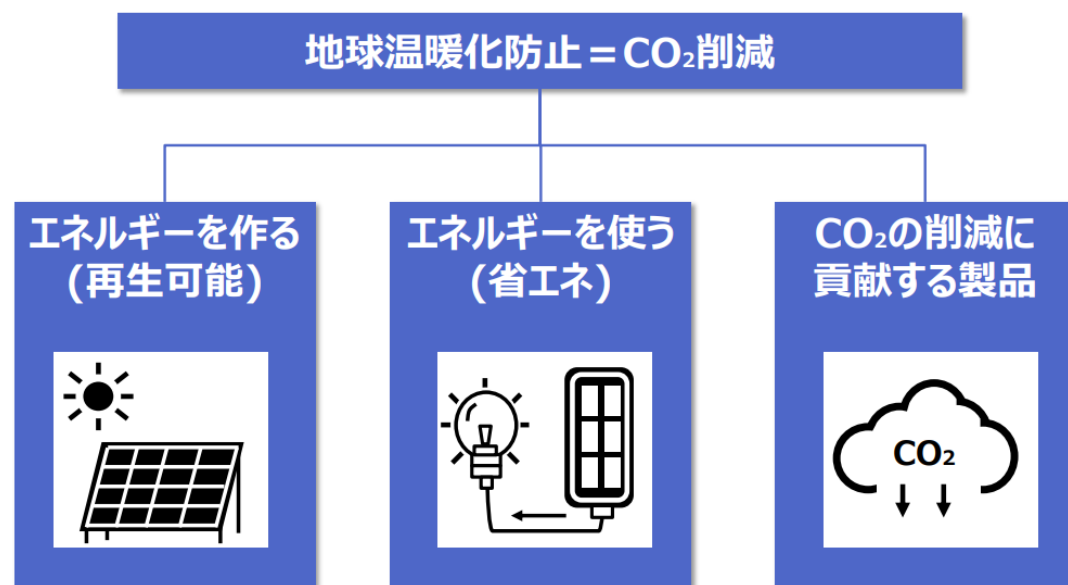
キャンピングカー「VILLATOR」販売開始

足回りの技術力を強みに、
従来のキャンピングカーでは
難しかった「走っても楽しい」
という新たな価値観を実現。



サステナビリティへの取り組み ①

2050年カーボンニュートラル達成に向けた取り組み



CO₂削減目標
2027年 開発センター/研究所のカーボンニュートラル達成
2035年 CO₂排出量 2018年度比71%削減
2050年 カーボンニュートラル達成

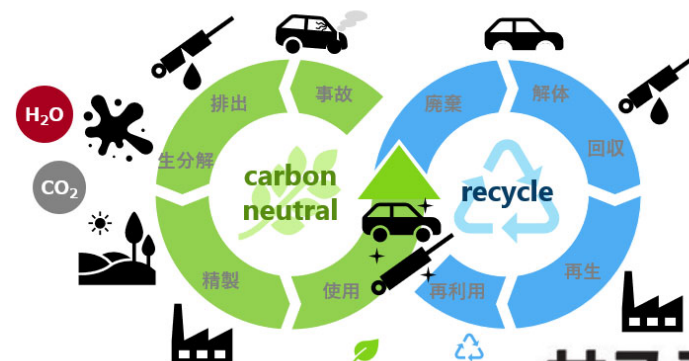
各種取り組みにより、
持続可能なモビリティ社会の実現に貢献

CO₂削減に貢献する製品

剪定枝の粉碎処理車：タウンビーバー



環境作動油：サステナルブ

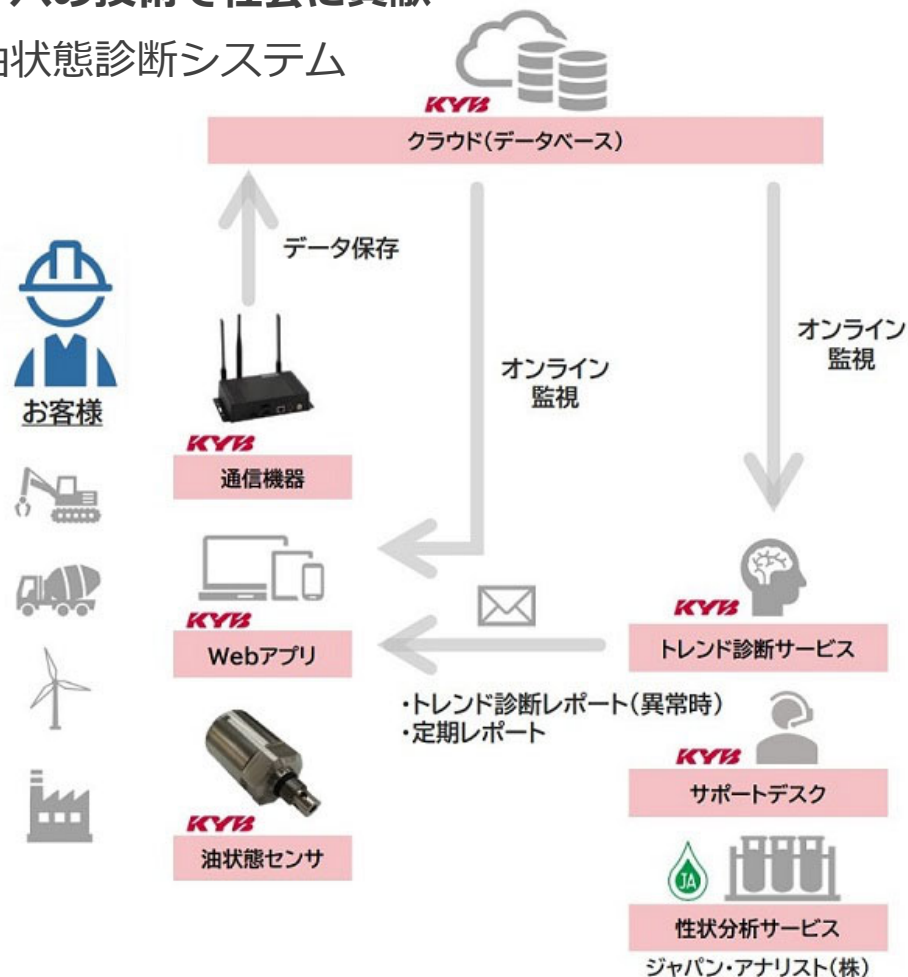


サステナルブ

サステナビリティへの取り組み ②

カヤバの技術で社会に貢献

・油状態診断システム



各種取り組みに対する外部評価



- ・ CDP気候変動分野CDP2025『Aリスト』に選定
(2025年度気候変動分野「A」、水セキュリティ分野「A-」)
- ・ 「えるぼし」企業認定取得
- ・ SOMPOサステナビリティインデックス構成銘柄に選定
(2026 年度)
- ・ 健康経営優良法人認定取得 (2025年度)
- ・ 開発センター 自然共生サイト認定

長期ビジョン



長期ビジョン全編

KYB
Our Precision, Your Advantage

長期ビジョン

人々の暮らしの未来を支えるパートナー

モビリティ・インフラ・リビングの安全性と快適性を支える力として、社会に不可欠な存在へ

スローガン

夢ある明日をつくる。Inspiring Dreams, Shaping the Future.

経営指標・FY35に向けたステップ

FY24
Result

売上 **4,383**億円

ROE **6.7%**

バックキャスト

売上 **7,000**億円以上

ROE **11.0%**以上

ROIC **9.0%**以上

**FY35
Target**

26中期《構造改革》

- 既存：事業ポートフォリオの最適化
- 新規：事業創出に向けた種まき

29中期《成長加速》

- 既存：成長製品への積極投資と展開
- 新規：ビジネスモデルの確立

32中期《新事業拡大》

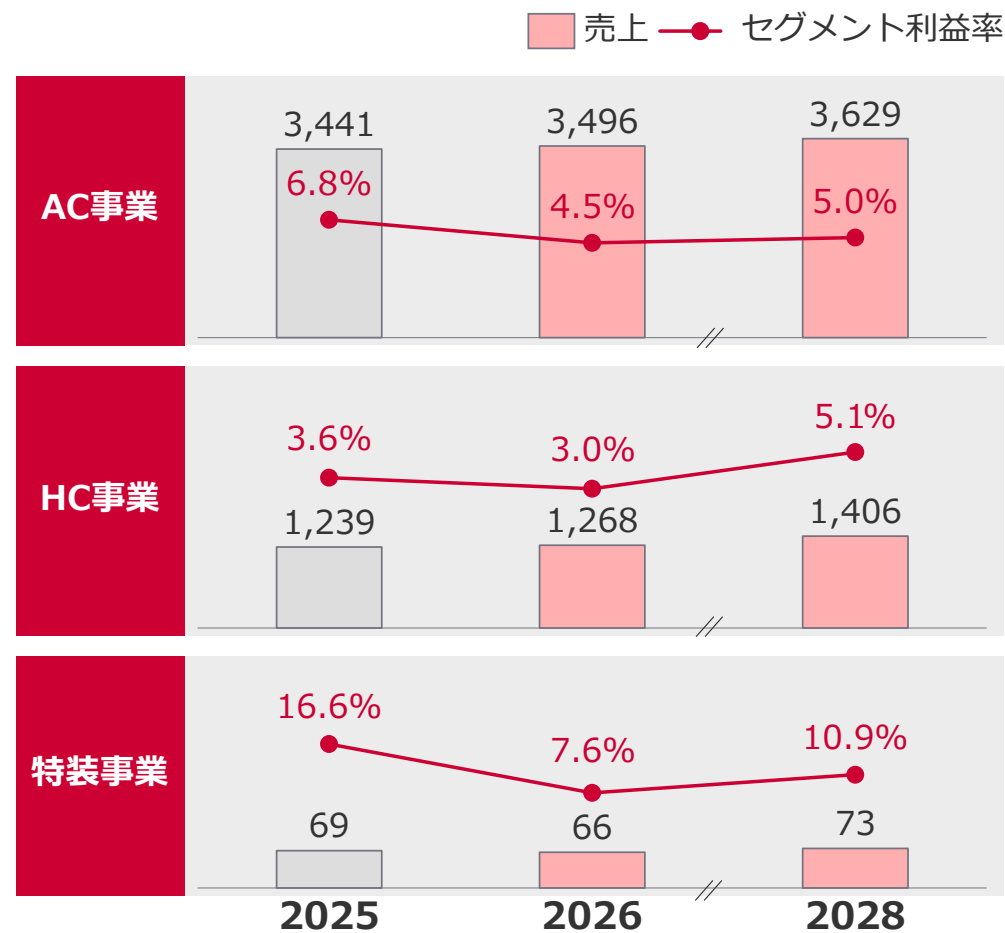
- 既存：新製品の探求と開発（製品化）
- 新規：ポートフォリオの柱として拡大

2026中期経営計画

次期中期経営計画（'29～'31）の成長に向けて、先行投資・施策を実行しつつ収益改善を目指す

(単位：億円)	IFRS		
	2025年度 実績	2026年度 【計画】	2028年度 【中期目標】
売上高	4,815	4,890	5,140
セグメント利益 (※1)	294	200	250
セグメント利益率	6.1%	4.1%	4.9%
ROE	12.2%	6.6%	8.1%

(※1) 日本基準の営業利益に相当





2026年度第1四半期 決算概要

2026年度第1四半期 連結決算実績



(単位：億円)	IFRS		(前年同期比)
	2025年 第1四半期 実績	2026年度 第1四半期 実績	
売上高	1,139	1,262	+122
セグメント利益 (※) (セグメント利益率)	61 (5.3%)	86 (6.8%)	+25 (+1.5%)
営業利益 (営業利益率)	134 (11.7%)	108 (8.6%)	△26 (△3.2%)
親会社の所有者に帰属する 当期利益	121	83	△38
為替レート (平均レート)			
円 / US\$	144.60円	159.49円	
円 / EUR	163.80円	185.38円	

(※) 日本基準の営業利益に相当

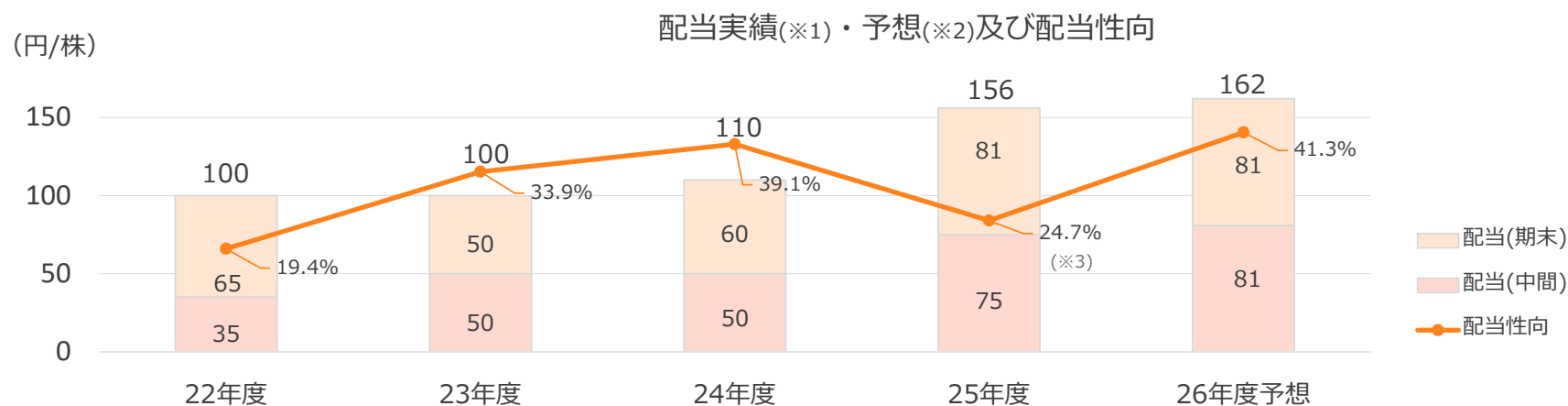
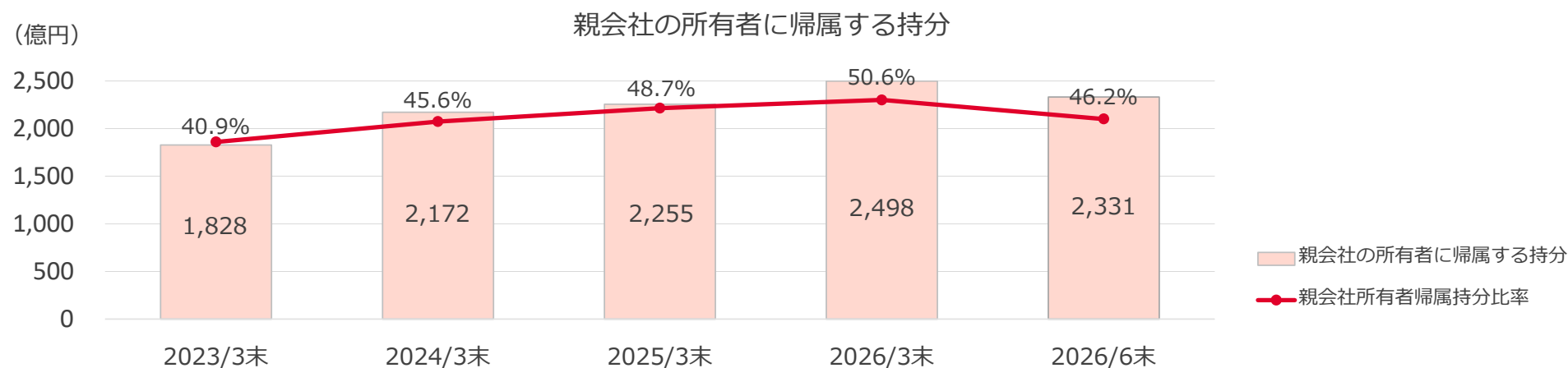
2026年度 連結決算見通し

(単位：億円)	IFRS		(前年比)
	2025年度 実績	2026年度 見通し	
売上高	4,815	4,890	+75
セグメント利益 (※1) (セグメント利益率)	294 (6.1%)	200 (4.1%)	△94
営業利益	349	240	△109
親会社の所有者に帰属する 当期利益	290	160	△130
1株当たり配当 (※2)	156円	162円	+6円
為替レート (平均レート)			
円 / US\$	150.77円	156.12円	
円 / EUR	174.79円	181.35円	

(※1) 日本基準の営業利益に相当

(※2) 2026年度の配当予想は2026年10月1日を効力発生日とする株式分割（3分割）考慮前の金額を記載

自己資本と配当の推移



(※1) 配当額は2024年12月3日を効力発生日とする株式分割(2分割)を踏まえ、2022年度に遡って調整した金額(分割前配当×1/2)を記載

(※2) 2026年度の配当予想は2026年10月1日を効力発生日とする株式分割(3分割)考慮前の金額を記載

(※3) 非資金項目(知多鋼業取得による負ののれん61億円)を利益から除いた配当性向は31.6%



Our Precision, Your Advantage

カヤバ株式会社

ご注意事項

本資料のうち、業績見通し等に記載されている将来の数値は、現時点で把握可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。

実際の業績は、外部環境及び内部環境の変化によるさまざまな重要な要素により、これらの見通しとは大きく異なる結果となる場合があることをご承知おき下さい。

お問い合わせ・取材お申し込み先

広報IR部

TEL:03-3435-3580 E-mail: kyb-ir@kyb.co.jp